

株 主 メ モ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
■定時株主総会	毎年6月
■基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
■株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
■公告方法	電子公告により行う。 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

株式会社 ティラド

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-25-3
TEL:03-3373-1101 (代)
URL:https://www.trad.co.jp/



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

T.RAD INTERIM REPORT 2020

第118期 中間報告書

(2019年4月1日から2019年9月30日まで)



T.RAD
T.RAD Co., Ltd.

株式会社 ティラド
証券コード7236

To our Shareholders

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さてこの度、第118期上半期（2019年4月1日～2019年9月30日）が終了いたしましたので、ここに中間報告書をお届けし、事業の概要につきましてご報告申し上げます。



代表取締役 社長執行役員

宮崎 富夫

当上半期の経済環境は、世界経済の緩やかな減速を背景に、輸出が伸び悩む一方で、内需が堅調に推移し、底堅さを維持しています。先行きは、中国・インド経済の減速、米中の貿易摩擦及び英国の欧州連合（EU）離脱など景気を下押しするリスクが懸念されます。

自動車業界は、車両電動化、IT企業等異業種の参入、シェアリングエコノミーの台頭等、急激な変革期を迎えています。

以上の環境下、当社の業績は、厳しい状況が続いておりますが、独立系熱交換器専門メーカーとして、世の中の変化やお客様のニーズに柔軟かつ迅速に対応することをモットーに、収益基盤の強化を図るべく、新製品の開発や、ITノウハウを活用した新規ビジネスの開拓及び働き方改革に全社一丸となって、チャレンジして参ります。

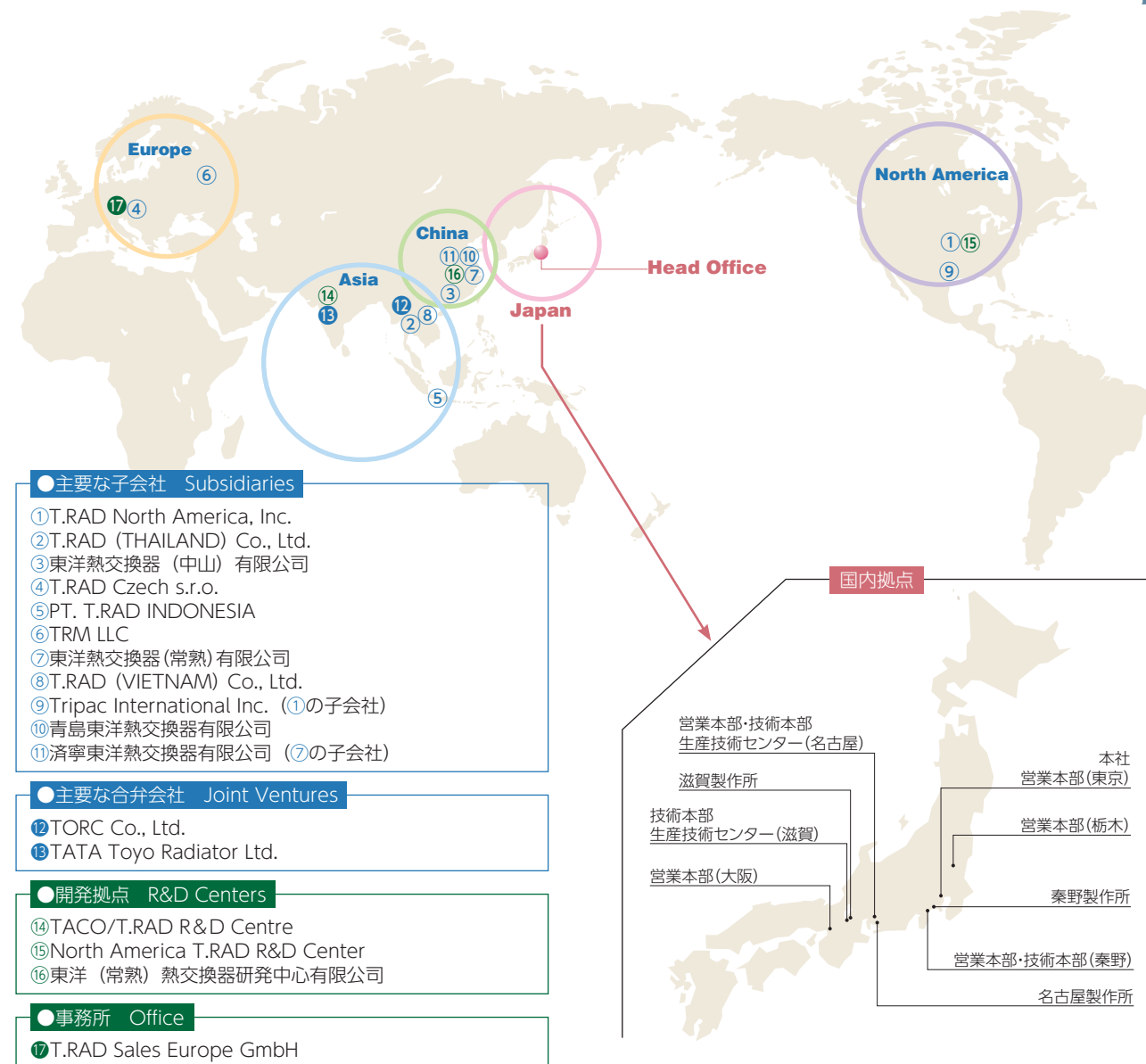
なお、中間配当につきましては、1株40円とし、株主の皆様の日頃のご支援にお応えしたいと存じます。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

Global Network of T.RAD

地球環境に配慮した世界No.1熱交換器メーカーを目指して



Business Categories

自動車用熱交換器事業

当社の自動車用熱交換器は、乗用車・二輪車・トラック・バスなど幅広い車両で多くのお客様に採用されております。ラジエータ・チャージエアクーラ・オイルクーラ/ウォーム・ヒーターコア・EGRクーラなど様々な媒体に対応した多種多様な熱交換器を、お客様が急速にグローバル化を進める中、日本・北米・欧州・アセアン・中国の5極8か国で生産・販売しております。

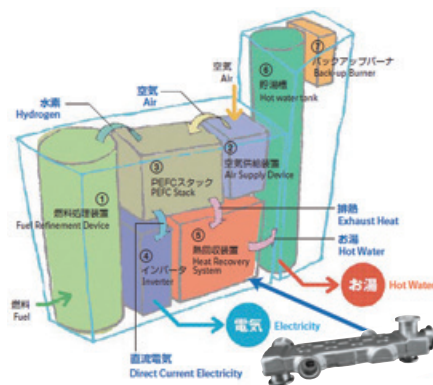
また、これらの商品は低燃費化や窒素酸化物の削減にも大きく貢献しております。



家庭用固定式燃料電池システム

当社は、家庭用固定式燃料電池システム用の高性能・コンパクトな熱交換器を生産・販売しております。

システムの省エネ化を達成することで二酸化炭素など温室効果ガスの低減に貢献しております。



出典：NEF(財団法人新エネルギー財団) わが家のハッピープロジェクト 家庭用燃料電池システム(平成21年版)
Source: NEF(New Energy Foundation) My Happy Home Project Household Fuel Cell Systems (FY 2009 edition)

建設・産業・農業機械用熱交換器事業

当社の建設・産業・農業機械用熱交換器は、世界トップクラスの水準を誇っております。

極寒・灼熱・粉塵・衝撃といった厳しい環境に耐える熱交換器を実現するために、高度な開発力・技術力を要求されております。当社は、ラジエータ・オイルクーラ・チャージエアクーラを一体化したモジュール製品であるS-ACoM (Smart-Advanced Cooling Module) を開発し販売しております。これにより建設・産業機械の高機能化・低燃費・低排ガス・低コストに大きく貢献し、市場の要求に対応してまいります。



Special Issue

環境配慮型製品

車両電動化に対する取り組み

当社は日々加速する車両電動化の中でお客様の求める新たな熱マネジメントに対応する商品の開発、販売に積極的に取り組んでいます。

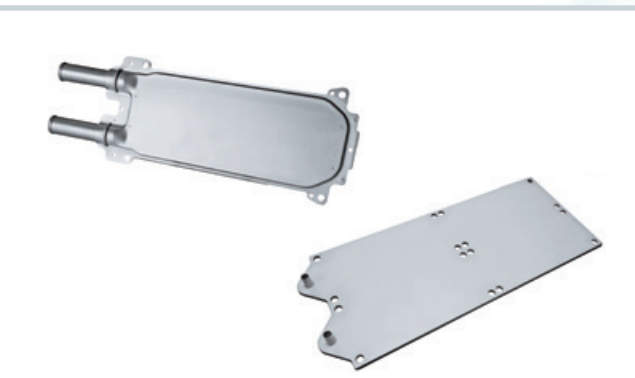
当社の得意分野である商品の機能拡大、新商品の投入でさらなる境地を切り開きます。

当社の熱交換器のテクノロジーは世界で主流となっているハイブリッド車や電気自動車へ幅広く投入されています。



ホンダ Accord HYBRID用 ラジエータ&サブラジエータ

- 日本及び北米などで販売されるAccord HYBRIDに搭載されています。
- 圧倒的低燃費の実現に貢献しています。



インバータ/バッテリー用熱交換器

当社の熱交換器が電動車向用機器の適切な温度管理に貢献します。車両電動化社会の到来は、新たな熱マネジメントの領域を増大させ、当社の熱交換器はその市場の要望に応じて参ります。



トヨタ ハイブリッド車用 モータオイルクーラ

- ハイブリッド車のモータを冷却するための専用オイルクーラです。

Performance by Operating Segment

セグメント別の概況

【日本】

自動車用売上高は、当社受注機種の販売が堅調に推移したことにより、前年同期比増加しました。建設産業機械用売上高は、中国及びマイニング市場の需要減少により、前年同期比減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、590百万円減少し、29,147百万円となりました。

営業利益は、人件費及び運転経費の増加等により、前年同期比654百万円減少し、△289百万円となりました。

【米国】

自動車用売上高は、新規受注した機種の量産開始等が寄与し増加しました。建設産業機械用売上高は、農産機向け主要客先の需要増により、前年同期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比686百万円増加し、16,568百万円となりました。外貨ベースでは、7.0%の増加となりました。

営業利益は、関税引上げの影響によるコスト増加、スクラップ費用の増加等により、前年同期比398百万円減少し、△150百万円となりました。外貨ベースでは、162.4%の減益となりました。

【欧州】

チェコにおいて自動車用売上高は、新規受注した機種の量産開始等が寄与したことにより、前年同期比増加しました。空調機器用売上高は、主要客先の取引終了により、前年同期比で大幅に減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比959百万円減少し、1,308百万円となりました。外貨ベースでは、40.8%の減少となりました。

営業利益は、空調機器用売上上の主要客先の取引終了の影響等により、前年同期比88百万円減少し、△566百万円となりました。外貨ベースでは、21.5%の減益となりました。

【アジア】

自動車用売上高は、インドネシアにおいて受注機種の売上好調により前年同期比増加しましたが、タイにおいて受注が減少したこと等により、前年同期比減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比63百万円減少し、8,626百万円となりました。外貨ベースでは、3.3%の減少となりました。

営業利益は、前年同期比129百万円減少し、1,037百万円となりました。外貨ベースでは、14.0%の減益となりました。

【中国】

自動車用売上高は、地場自動車メーカーの販売が減少したことにより、前年同期比微増となりました。建設産業機械用売上高は、主要客先の受注が減少したことにより、前年同期比減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比582百万円減少し、9,929百万円となりました。外貨ベースでは、為替の影響もあり、0.2%の増加となりました。

営業利益は、前年同期比180百万円減少し、1,289百万円となりました。外貨ベースでは、6.8%の減益となりました。

Topics

1. サステナビリティレポート 2019 (旧CSR報告書)を発行

「ティラド サステナビリティレポート2019」を2019年8月末に発行いたしました。

2008年に「環境報告書」として産声を上げ、「環境・社会報告書」、「CSR報告書」を経て「サステナビリティレポート」として刷新いたしました。昨今、企業活動を通じた「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成貢献やESG(環境・社会・企業統治)の要素に着目した活動報告が求められています。

長期的な成長や持続可能な社会の実現に向け、当社も様々な活動を行っており、今後、「サステナビリティレポート」を通し報告してまいります。

なお「サステナビリティレポート」は当社ホームページからご覧いただけます。

https://www.trad.co.jp/databox/data.php/csr_environment_ja/code



2. 「学生フォーミュラ*日本大会 2019」をスポンサード

2019年8月27日(火)～31日(土)の5日間、エコパ(小笠山総合運動公園・静岡県)にて「学生フォーミュラ*日本大会2019」が開催され、当社は大会スポンサーとして8月29日(木)～8月31日(土)の3日間、企業PRコーナーにブース出展いたしました。

また、今大会より大会スポンサーとは別に、名古屋工業大学とスポンサー契約をし、次世代の技術者育成に向けた支援をしております。

*学生フォーミュラとは、学生自らがチームを組み、約1年間でフォーミュラスタイルの小型レーシングカーの開発・製作を行い、そのマシンを使ってコンテストを行います。競技大会では、走行性能だけでなく、車両のマーケティング、企画・設計・製作、コスト等のものづくりにおける総合力を競い合います。



3. レーシングライダー ^{いしづか たけし} 石塚 健さんを応援しています

全日本選手権での表彰台獲得や、年間ランキング最高5位の実績を持つ実力派のレーシングライダー石塚健(いしづかたけし)さんを応援しています。

石塚さんは、1995年生まれの24歳。3歳の誕生日に父親がポケットバイクを買ってきた事によりオートバイと出会い、5歳からレースデビュー。

2019年7月末に開催された『2019 FIM世界耐久選手権シリーズ“コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース』に参戦され、SSTクラス優勝をされました。

そんな石塚さんが、活躍の舞台を日本から欧州へ移し、スペインを中心に行われているヨーロッパ選手権Moto2クラス(600cc)に参戦されるにあたり、夢に向かって努力しステップアップされる姿、厳しい世界へのチャレンジ精神は、当社社員にも良い影響を与えてくれるであろうと期待しスポンサードさせていただくことにいたしました。

若い人が新しい事にチャレンジする姿・世界へ羽ばたく姿を当社は応援してまいります。



Financial Statements (Consolidated)

財務諸表 (連結)

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	前中間連結会計期末	当中間連結会計期末	前連結会計年度末
	2018年9月30日現在	2019年9月30日現在	2019年3月31日現在
資 産 の 部			
流 動 資 産	51,177	54,164	53,152
固 定 資 産	41,826	35,905	39,776
有 形 固 定 資 産	30,627	30,602	29,641
無 形 固 定 資 産	1,428	1,557	1,484
投 資 そ の 他 の 資 産	9,770	3,745	8,650
資 産 合 計	93,004	90,070	92,929
負 債 の 部			
流 動 負 債	35,218	32,547	36,053
固 定 負 債	10,442	12,132	10,705
負 債 合 計	45,660	44,680	46,759
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	43,663	43,435	43,512
資 本 金	8,545	8,545	8,545
資 本 剰 余 金	7,579	7,526	7,551
利 益 剰 余 金	28,439	29,619	28,315
自 己 株 式	△ 900	△ 2,257	△ 901
その他の包括利益累計額	1,551	△ 209	559
その他有価証券評価差額金	1,194	86	456
為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 285	△ 768	△ 381
退職給付に係る調整累計額	641	472	485
非 支 配 株 主 持 分	2,128	2,164	2,098
純 資 産 合 計	47,343	45,389	46,170
負 債 ・ 純 資 産 合 計	93,004	90,070	92,929

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表について

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上減少等により、前連結会計年度末比2,859百万円減少し、90,070百万円となりました。

資産は、売掛金減少等により、2,859百万円減少し、90,070百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末の休日影響により買掛金が減少したこと等により、2,079百万円減少し、44,680百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により増加しましたが、自己株式の取得等により780百万円減少し、45,389百万円となりました。

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売 上 高	67,580	66,100
売 上 原 価	59,136	59,142
売 上 総 利 益	8,444	6,958
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,370	5,292
営 業 利 益	3,073	1,666
営 業 外 収 益	390	250
営 業 外 費 用	165	282
経 常 利 益	3,298	1,633
特 別 利 益	22	1,387
特 別 損 失	549	449
税金等調整前四半期純利益	2,770	2,571
法 人 税 及 び 住 民 税 等	859	1,162
法 人 税 等 調 整 額	222	△ 457
四 半 期 純 利 益	1,688	1,867
非支配株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	147	165
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1,540	1,701

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,818	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,959	1,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 585	△ 220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 294	△ 152
現金及び現金同等物の増加額 (減少額)	△ 1,019	1,080
現金及び現金同等物の期首残高	11,965	13,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,946	14,907

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書について

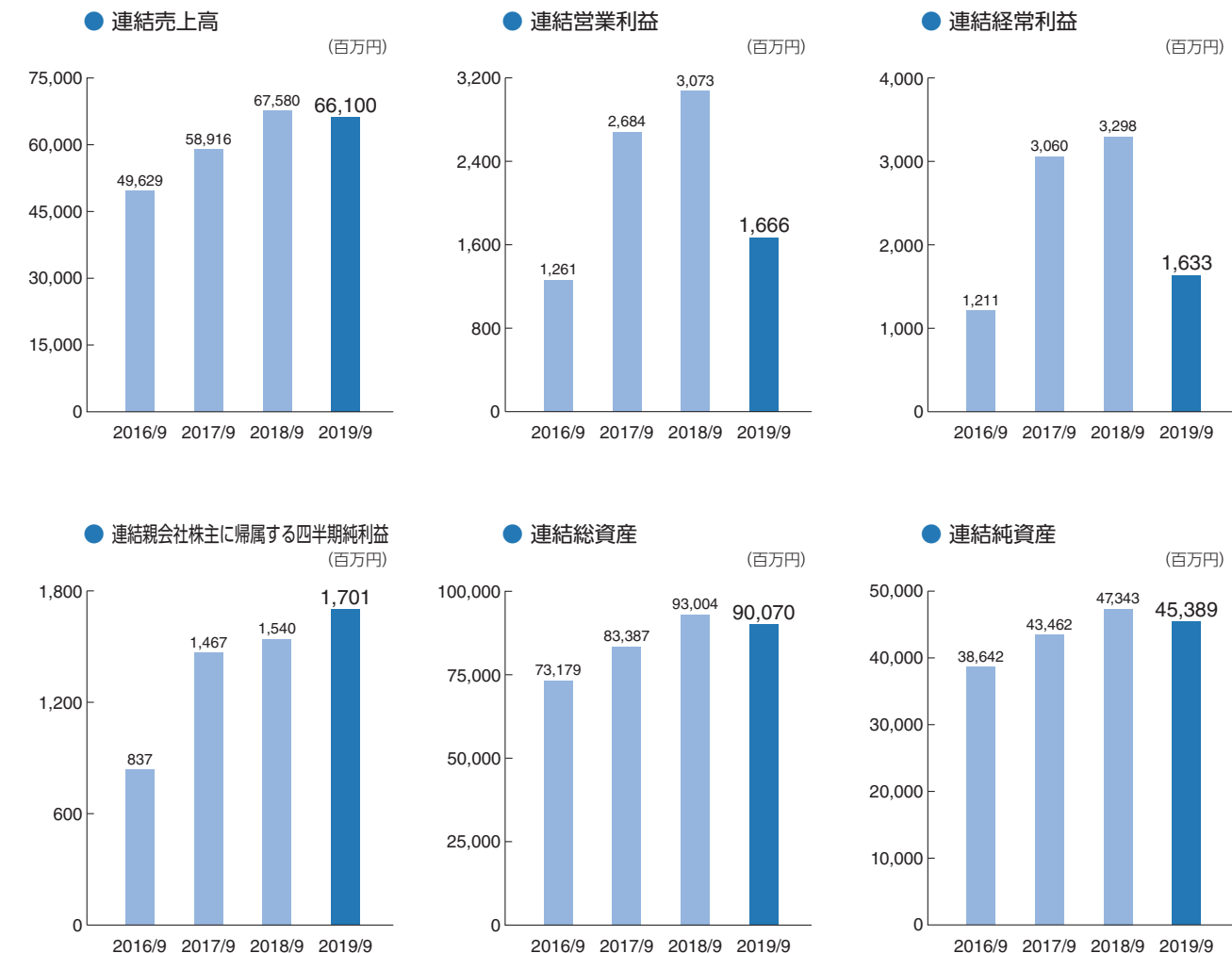
当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期比3,960百万円増加し、14,907百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの増減要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業利益の減少等により、前年同期比3,577百万円減少し、240百万円プラス、投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却等により、前年同期比5,171百万円増加し、1,212百万円プラス、及び財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加等により前年同期比364百万円増加し、220百万円マイナスとなりました。

Financial Highlights

財務ハイライト



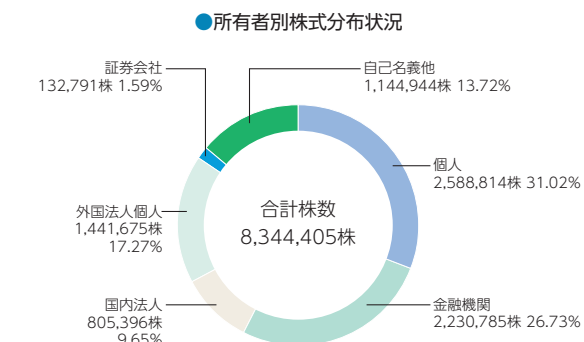
Stock Information

株式の状況 (2019年9月30日現在)

- (a) 発行可能株式総数 15,000,000株
- (b) 発行済株式の総数 7,199,461株
(自己株式数1,144,944株を除く。)
- (c) 1単元の株式の数 100株
- (d) 株主数 7,423名
- (e) 大株主 (上位10位)

株主名	持株数 単位=1,000株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	359	4.99
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	353	4.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	326	4.53
ティラド取引先持株会	309	4.29
株式会社陣屋	226	3.14
クリアストリーム パンキング エス エー	224	3.11
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	195	2.71
明治安田生命保険相互会社	192	2.67
三井住友信託銀行株式会社	191	2.66
山崎金属産業株式会社	169	2.34

(注) 1. 当社は自己株式1,144,944株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



Corporate Data

会社概要 (2019年9月30日現在)

社名 株式会社 ティラド
T.RAD CO., LTD.
本社 〒151-0053
東京都渋谷区代々木三丁目25番3号
(あいおいニッセイ同和損保新宿ビル)
設立 1936年11月11日
資本金 85億4,564万円
代表者名 宮崎富夫
従業員数 1,624名
事業所 本社 (東京) 製作所 (神奈川、愛知、滋賀)
技術本部 (神奈川、愛知、滋賀)
営業本部 (東京、栃木、神奈川、愛知、大阪)
生産技術センター (滋賀、愛知)
海外関連会社 アメリカ、チェコ、ロシア、インド、
インドネシア、タイ、中国、ベトナム、ドイツ

取締役・監査役

代表取締役会長 嘉納 裕 躬
代表取締役社長執行役員 宮崎 富 夫
取締役 専務執行役員 百瀬 芳 孝
取締役 常務執行役員 山崎 徹
取締役 常務執行役員 鈴木 潔
社外取締役 清水 浩
社外取締役 亀井 洋 一
社外取締役 高橋 良 定

常勤監査役 島田 晃 一
常勤監査役 中野 公 昭
社外監査役 勝田 正文
社外監査役 大庭 康 孝